

第4回高知県立病院経営健全化推進委員会 要旨

1 日時

平成24年2月10日（金）15時から17時まで

2 場所

オリエントホテル高知 2階 花鳥の間

3 出席者

委員 : 武田委員長、宇田委員、杉浦委員、中澤委員

公営企業局 : 安岡局長、大原次長

県立病院課 : 彼末課長、丑本課長補佐、山脇課長補佐、井上チーフ、
小田切、井添、上岡、前田

安芸病院 : 前田院長、浅野事務部長、山本チーフ

芸陽病院 : 山下院長、福井事務部長

幡多けんみん病院 : 橋院長、山中事務部長

4 議事要旨

(1) 高知県立病院改革プランの改訂について

- 資料1、2について説明（県立病院課）
 - ◇ 改革プラン改訂版（第4.5期計画）の策定
 - ◇ 第4期計画の主な成果と残された課題
 - ◇ 第4.5期計画の目標と取り組み項目
 - ◇ 収支計画（H24～25年度）

〔医師確保について〕

- 医師の採用は、大学にお任せでなく、Uターン、Iターンにも積極的に取り組むべき。時代の流れに一致していない。（委員）
- 県外に出ている高知県出身の医師を呼び戻す取り組みが必要。（委員）
- 大学の教授だけでなく、学生との接触も必要。（委員）
- 高知大学医学部の入試出願資格には、「卒業後、高知県内の地域医療に貢献することを確約できる者」とあり、卒業後の勤務を義務付けたものではない。担保のないものに医師確保を頼っていることは自覚しておくべきである。（委員）
- 学生を対象とする幡多道場を実施するなどして、学生に幡多けんみん病院に対する関心を持ってもらうよう取り組んでいる。また、初期臨床研修後、大学に戻って高度医療を学び、再び幡多けんみん病院に戻ってきてもらうよう連携を取っている。（幡多けんみん病院）
- 安芸病院の若手医師には週1回大学で勤務してもらい、高度医療に触れることで、モチベーションを高めてもらうようにしており、若手医師からも好評である。（安芸病院）
- 医師募集のアピールが不足している。ホームページの医師募集を見てもパツとしない。（委員）
- イメージ戦略が重要と考え、ホームページ作製業者に委託し、あき総合病院への統合にあわせて新たなホームページに更新するようにしている。（安芸病院）

〔医療法の改正に応じた計画の作成について〕

- 次回の改革プランでは、医療法の方向性を見据えた長期継続的な計画を作成してもらいたい。（委員）

〔地域連携について〕

- 幡多けんみん病院の地域連携をモデルケースに安芸病院で活用してはどうか。
(委員)

(2) 新しい経営管理体制の試行について

- 県の監査委員から、経営者会議で議事録に公営企業局長、各病院長が署名することで責任を明確化してはどうかとの意見があり、改革プランの取り組みとした。このことについて委員の意見はどうか。(県立病院課)
- 議事に関する責任の所在を意味するものではなく、法的な意味はない。監査委員の意図は、議事録を見たことの確認の意味ではないだろうか。(委員)